

遠野市過疎地域持続的発展計画（R3～R7年）

令和4年度指標目標実績

達成率の欄が緑色の指標は、実績値が目標値より低い場合に達成となる指標です。

各分野の方向性	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率※
1 移住・定住、地域間交流及び人材育成の推進 (4指標)	1	移住者世帯数	世帯	11	目標値	10	10	10	10	10	達成	150.0	東京都内を会場に、県主催の「THE いわて DAY（相談受付17組）」やふるさと回帰支援センター主催の「ふるさと回帰フェア（相談受付10組）」に参加し、コロナ禍前と同様に、対面形式で移住定住情報のPRを行った。 「で・くらす遠野」では、市内民間団体や花巻市との広域的な連携により、移住希望者のワンストップ窓口に取り組んだほか、「で・くらす遠野」のホームページやインスタグラムを活用し積極的に情報発信した結果、令和4年度の相談件数は延べ135件と大幅に増加し、15世帯の移住につながった。 今後も、移住セミナーに積極的に参加するとともに、ホームページ等での遠野の魅力発信、空き家取得奨励金やリフォーム事業助成金等の利用促進など、移住定住に向けた取組を展開していく。	観光交流課
					実績	17	15							
	2	で・くらす遠野ホームページ訪問者数	人	36,584	目標値	37,000	38,850	40,700	42,550	44,400	達成	107.1	インスタグラムなどのSNSを活用して効果的な情報発信を続けており、令和2年度のホームページリニューアル以降、訪問者は増加傾向にあり、目標値を達成することができた。 空き家バンク登録物件を確認する訪問者も多いことから、宝島社の「田舎暮らしの本」の月刊誌及びウェブサイトでの空き家情報の公開や、ライフフルホームズで運営する全国版空き家バンクでも情報を公開したことにより、ホームページ全体の閲覧数は16万3,271件と、過去最高となった。 今後も、市の魅力発信や移住制度情報等の発信に努め、ホームページ訪問者数の増加につなげていく。	観光交流課
					実績	34,397	41,603							
3	交流事業参加者数	人	3,376	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	達成	120.2	大府市及び福崎町による遠野市産業まつりへの出店を支援し、前日には武蔵野市も加えた歓迎交流会を開催した。また、三鷹市、大府市及び福崎町のイベントに出店し、互いの物産販売とともにPRを行った。 さらに、武蔵野市民ツアーの受入れや菊池市及び西米良村との住民相互交流を実施した。 令和・南部藩事業として、南部氏に縁のある5市4町の首長等が参集した南部氏領内視察事業を山梨県南部町及び身延町で開催し、各市町の成果報告会を通して相互理解を深めた。 今後も、相互交流の在り方を検証しながら、友好都市及び交流市町村等との絆を深め、交流人口の拡大を図っていく。	観光交流課	
				実績	1,207	3,607								
4	中学生の海外派遣数	人	9	目標値	9	9	9	9	9	未達成	0.0	新型コロナウイルス感染症予防のため、姉妹都市であるアメリカ合衆国テネシー州チャタヌーガ市への中学生派遣は中止を余儀なくされ、目標値を達成することはできなかった。 これとは別に、グローバルな視野と感覚を醸成する目的として、国内唯一の体験型英語研修施設への派遣事業(代替事業)を実施し、市内中高生19人が事前研修から派遣終了後まで、グローバルな視野を醸成するプログラムをやり遂げた。 今後も自国「日本」や郷土「遠野」を考える機会会の創出を図り、グローバルに対応することができる人材の育成に努めていく。	生涯学習スポーツ課	
				実績	0	0								
2 産業の振興 (5指標)	5	農業生産額（耕種）	千万円	269	目標値	271	272	273	274	275	未達成	73.9	葉たばこ農家の廃作や8月の長雨により生産額が減少となった影響のほか、コロナ禍による需要減から野菜等の小売価格が低迷し目標を達成できなかった。生産農家の高齢化問題もあり、今後新規就農者の育成や栽培面積拡大の確保に努め、遠野市売れる農畜産物生産支援事業を活用し、園芸品目（野菜や花き）について栽培指導会などをを行いながら、販売目標を達成するよう努めていく。	畜産園芸課
					実績	234	201							
	6	農業生産額（畜産）	千万円	402	目標値	400	405	410	415	420	未達成	87.7	粗飼料や資材等の価格高騰をはじめ、子牛市場の価格低迷などの影響から、肥育牛の出荷数量が減少し生産額は目標値を下回った。 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い経済活動は回復傾向にあることから、引き続き国等の事業を活用しながら畜産経営を支援し、販売目標を達成するよう努めていく。	畜産園芸課
					実績	382	355							
7	森林整備面積（年間整備面積）	ha	484	目標値	490	490	495	495	500	未達成	83.8	民有林については、国の森林整備事業を活用しながら森林整備の推進を図った。そのうち、私有林については、森林組合が森林所有者に働きかけを行っているほか、市独自事業として①市の嵩上げによる91%補助（国庫補助68%、市補助23%、森林所有者負担9%）、②山林からの木材運搬に対する補助、③林地に残っている木材資源の運搬に対する補助を行い森林整備を推進している。 令和4年度は、ウッドショックの反動で木材の荷動きが悪くなり、皆伐・間伐面積が減少した。 今後も遠野地方森林組合などの関係機関と連携し、各種補助制度の周知を図りながら、森林整備の推進を図っていく。	農林課	
				実績	443.5	410.6								
8	市内法人数	社	663	目標値	650	651	652	653	654	概ね達成	94.5	人口減少や担い手不足の影響もあり、法人数は減少傾向が続いている。 今後も人口減少の進行による地元消費市場の縮小と、それに伴う法人数の減少が懸念される中において、既存企業の新市場進出、業種転換、思い切った事業再構築に意欲をかき立てる支援に取り組む。	商工労働課	
				実績	629	615								

各分野の方向性	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率※
3 地域情報化の振興 (2指標)	9	道の駅利用者を含む観光客入込数	万人	167	目標値	169	178	186	188	189	未達成	75.3	令和4年度は、北東北三県大型観光キャンペーンにより、県域を超えたPR展開が実施された年であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の波が繰り返され、感染者も大幅に増加したことなどから、目標値に達することができなかった。 しかしながら、「日本のふるさと遠野まつり」が3年ぶりの開催となったことや、国の水際対策の緩和など、賑わいがみられる明るい兆しが見えた年度でもあり、対前年比では10.8%の増加となり、徐々にコロナ前までの水準に戻つつある。 今後は、令和5年4月に設立された「観光マネジメントボード遠野」が、本市の観光全体に係る取組の意思決定や、遠野市観光推進基本計画に基づいた各種事業の進行管理、参画組織間の情報共有・連携を図りながら、観光戦略の企画・立案を担うとともに、観光地域づくり法人(DMO)の登録に向けた取組を進めて、持続可能な観光まちづくりの実現を目指していく。	観光交流課
					実績	120	134							
	10	ケーブルテレビ加入率	%	85.5	目標値	85.5	85.6	85.6	85.7	85.7	概ね達成	97.2	遠野テレビ放送番組審議会をはじめ、加入者の声や地域ニーズを広く収集し、視聴者にとって魅力ある番組づくりに努めるとともに、転入世帯や既設の引込線のある世帯等においては、加入金の減免措置を継続することにより、新規加入がしやすい環境づくりに取り組んだ。 また、定期的な新聞折込や市民課窓口での転入者に対するチラシ配付により、遠野テレビの加入促進にも努めた。 しかし、高齢世帯の増加に伴い、不在等を理由とした解約も増加傾向にあるため、新規加入が76件あったものの、解約件数は108件となり、全体加入率では目標値を2.4ポイント下回った。 令和5年度からは、指定管理者制度に移行したことから、指定管理者による管理の下、きめ細かなサポートを充実させることにより、加入者確保に努める。	情報推進課
11	遠野テレビインターネット加入率	%	35.1	目標値	35.6	36.6	37.8	39.0	40.0	達成	109.8	遠野市ケーブルテレビFTTH化整備工事の完了に合わせて、新たにインターネットメニューに高速コースを追加したほか、上り・下りの通信速度を統一することにより、居住地域に関わらず、高速・大容量の通信環境が得られる環境を整えた。 また、小友町と宮守町内の遠野テレビ加入者の内、インターネット未加入世帯に対して、災害時の情報手段の確保のため、Wi-Fi端末を設置することにより、市内全加入者宅にWi-Fi端末を整備した。 加入促進については、未加入世帯に対するダイレクトメールの発送や個別勧誘の取組を強化した結果、前年度を上回る321件の新規加入実績となり、目標値を3.6ポイント上回ることができた。 令和5年度からは、指定管理者制度に移行したことから、指定管理者による管理の下、きめ細かなサポートを充実させることにより、加入者確保に努める。	情報推進課	
				実績	38.3	40.2								
4 交通施設の設備、交通手段の確保 (2指標)	12	市道改良率	%	48.5	目標値	48.5	48.5	48.6	48.6	48.6	達成	100.2	市道須崎線ほか1路線483mを改良したことにより、全延長1,300kmのうち改良済延長は631.7kmとなり、目標を達成することができた。 今後も「生活に身近な道づくり事業第6期計画(令和4～8年度)」に基づき、市道改良工事を促進していく。	建設課
					実績	48.6	48.6							
13	市道舗装率	%	44.9	目標値	44.9	45.0	45.0	45.0	45.1	達成	100.0	市道須崎線ほか1路線483mを舗装したことにより、全延長1,300kmのうち舗装済延長は585.0kmとなり、目標を達成することができた。 今後も「生活に身近な道づくり事業第6期計画(令和4～8年度)」に基づき、市道改良舗装工事を促進していく。	建設課	
				実績	45.0	45.0								
5 生活環境の整備 (4指標)	14	水道管路の更新延長の累計(5年間)	m	25,755	目標値	6,540	12,218	19,142	26,146	33,700	未達成	84.9	令和4年度末時点の水道管路の更新延長は、累計で10,376mとなり、目標を達成できなかった。 その理由として、遠野東工業団地への水道水の供給を優先するため、青笹第1ポンプ場の機械等設備工事を前倒しで実施したこと、また、資材費の高騰等により施工延長を当初の予定から縮小せざるを得なかったことが挙げられる。 今後も、関係機関等と調整を図りながら、目標達成に向けて水道管路の更新を進めていく。	上下水道課
					実績	5,220	10,376							
15	水洗化率	%	66.0	目標値	67.8	68.7	69.5	70.5	71.4	概ね達成	99.4	令和4年度における下水道排水設備計画の確認申請件数は78件(個人56件、事業所等22件)、浄化槽設置整備事業費補助金を活用した個人住宅への合併処理浄化槽の設置基数は36基であった。 令和4年度末の住民基本台帳による総人口24,906人に対し、水洗化設備を使用している人口(水洗化人口)は17,011人で、水洗化率は68.3%となり、目標を概ね達成した。 水洗化に関する啓発活動として、公共下水道未接続世帯及び事業所への文書による接続勧奨を実施した結果、通知対象区域内の11世帯と2事業所が公共下水道に接続した。また、浄化槽未設置世帯に対しても、文書により水洗化の必要性や補助制度の周知に努めた。 各汚水処理施設による水洗化率は、公共下水道が90.1%、農業集落排水施設が97.2%である一方、浄化槽は48.3%にとどまっていることから、今後も浄化槽設置整備事業費補助金の活用を重点的に推進し、水洗化率の向上を図るとともに、水洗化の重要性に関する啓発活動を継続し、市民の生活環境の改善と公衆衛生意識の向上に努めていく。 また、下水道使用料及び農業集落排水施設使用料の収益確保をはじめ、事業運営に係る課題の改善と経営の安定化に向けた取組を推進していく。	上下水道課	
				実績	67.8	68.3								
16	市民一人1日当たりのごみ排出量	g/人・日	876	目標値	859	850	841	833	825	概ね達成	96.2	環境学習会の実施や、広報・遠野テレビを活用したごみの減量及び適正分別の啓発を行った。また、ごみ減量化物品購入に係る費用の一部助成を実施し、家庭から出る生ごみの自家処理を推進した。 市民一人1日当たりのごみ排出量は、資源集団回収団体等による資源物の回収量の増や、不燃ごみ手数料の有料化に伴う駆け込みでの排出量の増により計画値を34g上回った。しかしながら、可燃ごみの量は、市全体で昨年と比べ73t減少しており、市民のごみの減量及び適正分別への意識が浸透してきていると認識している。引き続き、ごみの減量化に向けた取組を推進していく。	環境課	
				実績	869	884								

各分野の方向性	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率※
						目標値	実績	目標値	実績	目標値				
6 子育て環境の確保、 高齢者等の保健及び 福祉の向上並びに増 進 (4指標)	17	公営住宅整備戸数	戸	-	目標値	-	15	9	11	-	未達成	80.0	平成30年度に計画を見直した「遠野市営住宅等長寿命化計画」に基づき、穀町市営住宅の整備を進めた。令和4年度は、令和3年度からの繰越事業と合わせて、穀町市営住宅の新築工事3棟12戸を実施した。宮守銀河市営住宅は、県が公表した新たな土砂災害の恐れのある区域に該当したことから整備を中断し、詳細調査の結果の確認と先行して穀町市営住宅を整備するとし、令和7年度に整備時期を繰り下げた。なお、宮守銀河市営住宅の整備を中断せざるを得ず、目標の整備戸数の達成は厳しいが、今後も計画的に市営住宅の更新を進めていく。	建設課
	18	合計特殊出生率	—	1.68 (H30実績)	目標値	1.74	1.76	1.78	1.80	1.80	概ね達成	92.6	合計特殊出生率は、1.63(令和3年度)で、目標に対し0.13ポイント下回ったが、前年より0.05ポイント増加した。岩手県の1.46を上回ってはいるが、少子化傾向は依然として継続している。安心して産み育てられる環境づくりのため、妊産婦あんしんサポート事業やすこやか子育て保健事業、幼児教育・保育無償化に伴う副食費助成や学童保育の無償化、ファミリー・サポート・センター事業など、妊娠・出産から子育てまで来れない支援を継続していく。	子育て支援課
	19	「住民主体の通いの場」の実施グループ数	カ所	5	目標値	15	25	30	35	40	未達成	88.0	目標達成には至らなかったが、コロナ禍の中で感染症対策を徹底し、住民主体の通いの場の拡大・拡充を図ったほか、住民主体による通いの場の必要性について、保健推進委員を対象とした地区別研修を実施するとともに、新規団体の立ち上げに向けた説明会や支援プログラムに沿った継続的な支援を実施した。また、リハビリテーション専門職及び運動指導スタッフと連携することで、スタッフの技術向上及びプログラム内容の充実に取り組むことができた。今後も事業を継続し、身体機能の低下や閉じこもりといったフレイルの予防に資する通いの場の拡充を目指す。	健康長寿課
	20	福祉施設から地域生活への移行者数	人	0	目標値	2	2	2	2	2	達成	350.0	令和4年度は福祉施設から地域生活への移行者数が7名となり、令和3年に引き続き目標値を上回る結果となった。内訳は精神科病院からの移行が5名、入所施設からの移行が2名だった。精神科病院及び入所施設において、本人及び保護者の意向を確認した上で、退院、退所後の生活を見据え、グループホーム等で体験を行うなどの支援を行った。また、関係機関との情報共有と連携を図ることで、病院や施設から地域生活への円滑な移行に結びついている。障がい者が地域で安心して自立した日常生活と社会生活を営むためには、障がい福祉サービスや相談支援体制の充実と、受け入れる側である地域住民への障害理解の促進が必要であることから、令和5年度に市直営の基幹相談支援係を新設し、相談支援体制の充実を図るとともに、地域自立支援協議会や各障がい者団体と意見交換を継続実施し、共生社会の実現に努めていく。	福祉課
	21	ICT健康づくり事業参加者数	人	1,279	目標値	1,800	1,900	2,000	2,100	2,100	未達成	78.3	目標値には及ばなかったものの、新規参加者は170人、継続率は88.8%と高い水準であった。また、新たな施策として、参加希望者向けの事業説明会や既に事業へ参加している者の口コミ等を活かしたお友達紹介・同時入会キャンペーンを新たに実施し、新規参加者の獲得に繋げた。このことから、国民の7割を占めるとされる健康無関心層が健康ポイントによるインセンティブ(動機付け)をきっかけに、無関心から健康維持へと行動変容できている。地域での計測会や運動教室、市内11の事業所と協働した働き盛り世代への健康支援、健康アンバサダー養成、地元商店街や観光施設と協働したウォーキングイベント等の実施により、市民の健康意識の向上に努め、健康寿命の延伸、医療費及び介護給付費の抑制、地域経済の活性化に寄与している。今後も市民の健康づくりを応援するとともに、ポイントの経済活動利用により地域の活性化に努めていく。	健康長寿課
7 医療の確保 (1指標)	22	妊娠・出産について満足している者の割合	%	91.1	目標値	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0	概ね達成	98.6	産後3～5か月の産婦を対象に「助産師や保健師から十分なケアを受けることができたか」について、アンケート調査を行った結果、「支援を受けることができ満足している」と回答した方の割合は93.7%(95人中89人)と目標値をやや下回ったものの、前年を2.0ポイント上回り、9割以上が満足している状況であった。産後は特に母親の育児不安が高まる時期であり、身体的回復とともに精神的不安の軽減に努めるため、助産師等による産後ケアの充実を図っていく。特に宿泊施設を利用した産後ケアの利用促進を図り、妊娠から子育て期におけるきめ細かい切れ目ない支援を継続し、妊娠・出産についての満足度の向上を目指す。	保健医療課
8 教育の振興 (5指標)	23	小学校標準学力検査偏差値	偏差値	51.2	目標値	52.1	52.1	52.2	52.2	52.3	概ね達成	95.0	令和4年4月に実施した小学校全国標準学力検査の結果は、目標値は概ね達成しているものの目標値を2.6ポイント下回る状況となった。教科ごとの結果をみると、4教科中「国語」は全国標準を上回る結果であり、「算数」も全国標準まであと0.8ポイントの数値となっているが、「理科」及び「社会」においては、全国標準から3ポイント以上下回っており、全国標準との差が大きい。令和5年度以降については、学力検査等の分析結果の活用や児童個々の学力の実態把握に努め、習熟度に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、遠野市教育研究所で策定した学力向上アクションプランを基にしたPDCAサイクルによる授業改善やICT端末を活用した個別学習、さらには、放課後学習教室等による家庭学習の習慣化を図ることにより、児童の確かな学力の向上を図っていく。	学校教育課
	24	中学校標準学力検査偏差値	偏差値	48.8	目標値	48.8	48.8	48.9	48.9	49.0	概ね達成	98.6	令和4年4月に実施した中学校全国標準学力検査の結果は、目標値は概ね達成しているものの目標値を0.7ポイント下回る状況となった。教科ごとの結果をみると、「理科」が前年度を0.5ポイント上回っているが、「国語」「算数」「社会」は前年度を下回り、4教科全てで全国標準を下回っていることから、全体的な底上げが必要となっている。令和5年度以降については、学力検査等の分析結果の活用や生徒個々の学力の実態把握に努め、習熟度に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、遠野市教育研究所で策定した学力向上アクションプランを基にしたPDCAサイクルによる授業改善やICT端末を活用した個別学習、家庭学習の定着、さらには、中学校の学習支援に向けた事業の実施などにより、生徒の確かな学力の向上を図っていく。	学校教育課

各分野の方向性	No.	まちづくり指標		現状 (R1年度)	年度別目標と実績					R4年度		成果・評価	担当課	
		指標名	単位		区分	令和3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	達成状況			達成率※
						目標値	実績	目標値	実績	目標値				
8 教育の振興 (5指標)	25	市民センター等の生涯学習講座の延べ受講者数	人	5,254	目標値	4,800	4,800	4,850	4,850	4,900	達成	103.0	関係団体と連携して新型コロナウイルス感染症対策を図り、令和3年度より回数を増やして生涯学習・社会教育講座を開催した。また、密を回避するためにオンライン講座を開講するなど、コロナ禍に対応した新たな取組により目標値を達成することができた。 今後も、「人づくり、つながりづくり、地域づくり」に資する社会教育講座を企画、運営し、開かれ、つながる社会教育の実現に向けて取り組んでいく。	生涯学習スポーツ課
	26	市民一人あたりの平均貸出冊数	冊	2.7	目標値	2.8	2.9	3.0	3.1	3.2	未達成	82.8	利用者のリクエストを反映した図書の選書の充実、季節やテーマごとの本の企画展を開催するなど、読書推進による貸出冊数の拡大に努めたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者の減少により、目標値の達成に至らなかった。 今後も利用者の関心を集める様々なテーマの企画展の実施、移動図書館車による計画的な巡回等により利用を促進し、利用しやすい環境づくりに努め、貸出冊数の増加を目指していく。	文化課
					実績	2.5	2.4							
27	スポーツ施設利用者数	人	199,168	目標値	200,000	200,200	200,400	200,600	200,800	概ね達成	98.1	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、令和4年度の前半は活動制限や公共施設の利用制限などもあり利用者数は伸び悩んだが、後半には感染症の感染拡大も落ち着き、利用者も前年度比で126%と活動が活発になったことから、目標を概ね達成することができた。 今後も目標達成に向けて、市民やスポーツ少年団などの各種団体に対して、日頃からの体力づくりやイベント等に活用していただくよう、感染対策を徹底しながら施設の利活用を推進する。	生涯学習スポーツ課	
9 集落の整備 (2指標)	28	みんなで築くふさと遠野推進事業実施数	事業	157	目標値	160	160	160	160	160	概ね達成	96.3	全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから5年目の取組となり、新型コロナウイルス感染症予防のため規模縮小や中止した事業が39件あるが、遠野遺産や集会所の改修等ハード事業にも取り組み、令和4年度の事業件数は前年度比6件増の154件と、目標値を概ね達成することができた。 今後も新型コロナウイルス感染症予防と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを行い、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識の醸成を図っていく。	市民協働課
					実績	148	154							
29	みんなで築くふさと遠野推進事業参加者数	人	3,963	目標値	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	未達成	89.6	全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから5年目の取組となり、遠野遺産や集会所の改修等ハード事業にも取り組み、参加者数は前年度比675人増の3,582人となったが、新型コロナウイルス感染症予防のため規模縮小や中止した事業が39件あり、目標を達成することはできなかった。 今後も新型コロナウイルス感染症予防と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを行い、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識の醸成を図っていく。	市民協働課	
				実績	2,907	3,582								
10 地域文化の振興等 (3指標)	30	遠野遺産認定件数（累計）	件	159	目標値	162	163	164	165	166	達成	103.7	推薦された新たな3件（金毘羅神社、宝領神社、旧遠野街道跡と追分の碑）を遠野遺産として認定した。今後も表示板や公式ガイドブック、ホームページなどにより遠野遺産の周知を行うとともに、認定後の遺産の活用を促し、文化的資産の保護・活用を通じた地域づくりを推進する。	文化課
					実績	166	169							
	31	文化財を保存活用する市民団体等の数	団体	137	目標値	139	140	141	142	143	達成	100.7	附馬牛町内の文化財を掘り起こし、YouTubeチャンネルを開設し情報発信している「附馬牛町地域づくり協議会」と、令和4年度遠野遺産推薦団体である「遠野町上早瀬自治会」も追加したため、141団体となり、目標を達成することができた。今後も市民団体等との連携により、文化財の保存活用を促進していく。	文化課
32	こども本の森遠野入館者	人	-	目標値	10,000	12,500	15,000	17,500	20,000	達成	169.5	令和4年4月から令和5年3月末まで、21,190人（市内6,985人、県内9,919人（うち沿岸被災地1,397人）、県外4,286人）の方が来館した。今後も遠野だけの施設ではなく、沿岸被災地との文化のネットワークを作る拠点として、また、わらずづこが安心して想像力と創造力を育む居場所として、遠野から世界に文化を発信していく。	こども本の森運営企画室	
					実績	14,805	21,190							